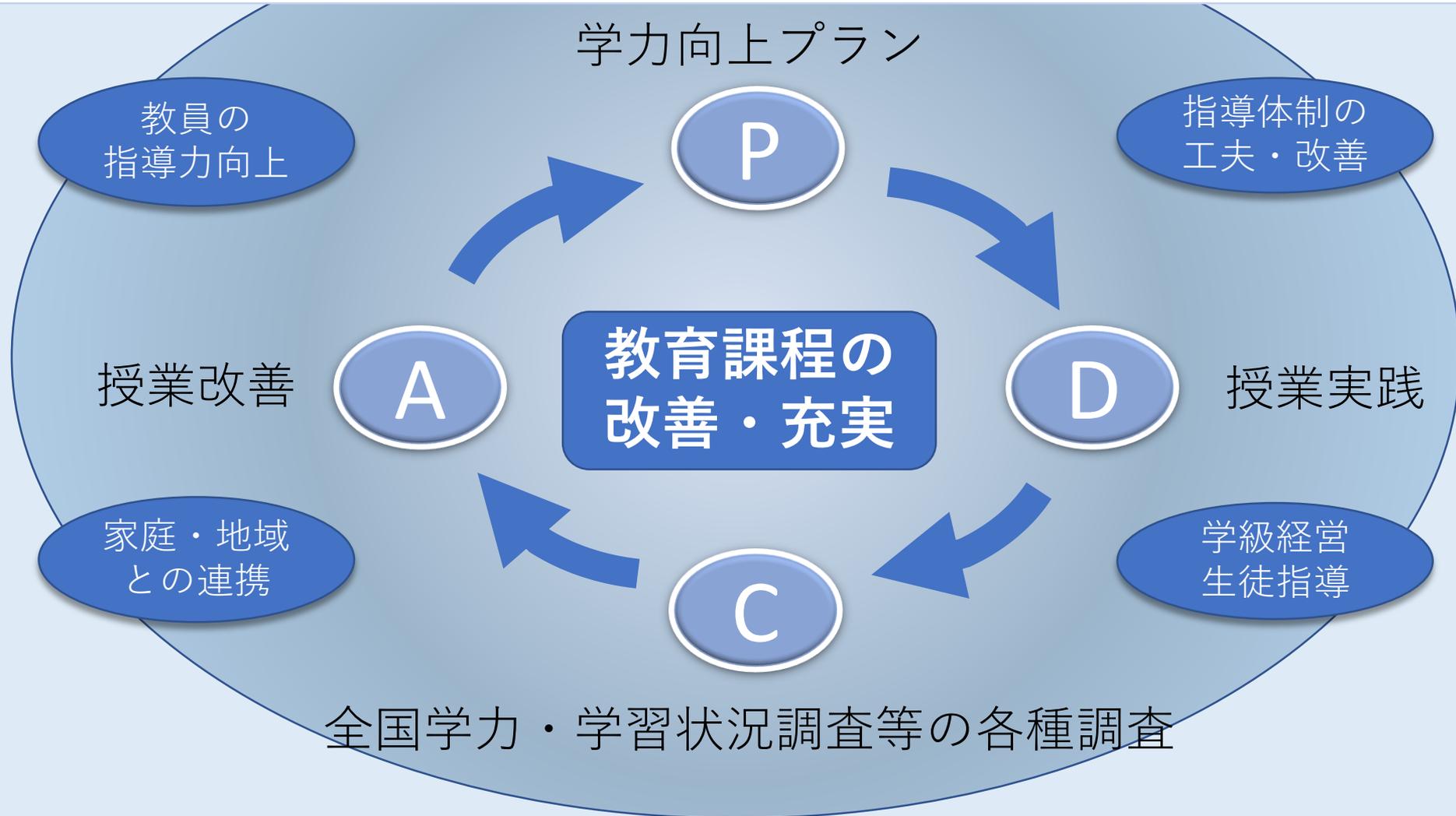


「総合的に学力向上を図る」とは ～支援事業のイメージ図～

教育課程の改善・充実を中心に、指導体制の工夫・改善、教員の指導力向上、家庭・地域との連携、学級経営、生徒指導といった視点から、学力向上対策を総合的に講じます。

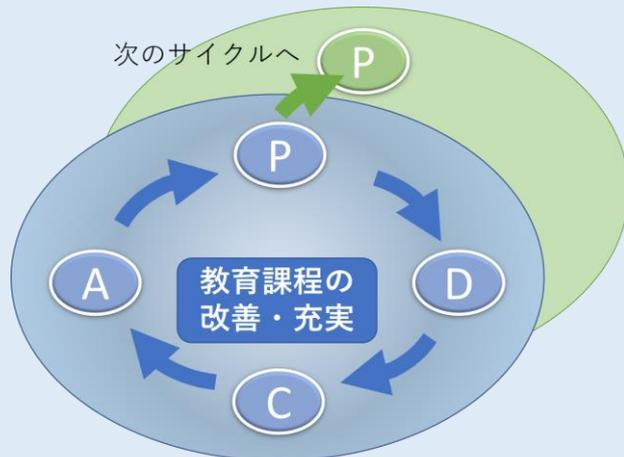


中心となる教育課程の改善・充実

～カリキュラム・マネジメントの3つの側面～

子供たち一人一人に学力の定着・伸長を図るためには、学校として、組織的・継続的に学力向上対策に取り組むことが必要不可欠です。

その中核となる教育課程は、編成、実施、評価、改善のカリキュラム・マネジメントのサイクルを絶え間なく回し、質を高めていくことが大切です。



子供や学校、地域の実態に応じて、教育活動全体を見渡した幅広い観点から取り組むべき課題を検討し教育課程を編成する

- ・学校教育目標を踏まえた教科横断的な視点
- ・必要な教育内容の組織的な配列

学力調査等を活用し、子供たちの学力、学習意欲、学習環境、生活習慣等の状況を具体的に把握し、分析、検証を行う

- ・全国学力・学習状況調査結果（学校質問紙、S P表）
- ・学校評価アンケートの結果 等

教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図る

- ・社会に開かれた教育課程の視点
- ・地域の外部資源（学校運営協議会、地域学校協働活動）

教育課程の改善・充実を支える取組

教員の指導力向上

- 校内研修の活性化や教材研究の充実により、教員の指導力を向上させるための取組を行う。

学習スタンダード

1人1授業

短時間での授業研究会

指導体制の工夫・改善

- 学校規模やクラスの実態に応じた効果的な指導体制の工夫・改善に関わる取組を行う。

小中連携

高学年の教科担任制

チーム・ティーチング

家庭・地域との連携

- 学習を支える基礎学力につながる家庭における学習習慣や生活習慣等の改善に向けた取組を行う。

家庭学習の習慣化

メディアコントロール

放課後補習

自主学習の工夫

学級経営 生徒指導

- 互いに考えを自由に伝え認め合うことができる学級風土を醸成したり、子供が学びやすい環境を整えたりする取組を行う。

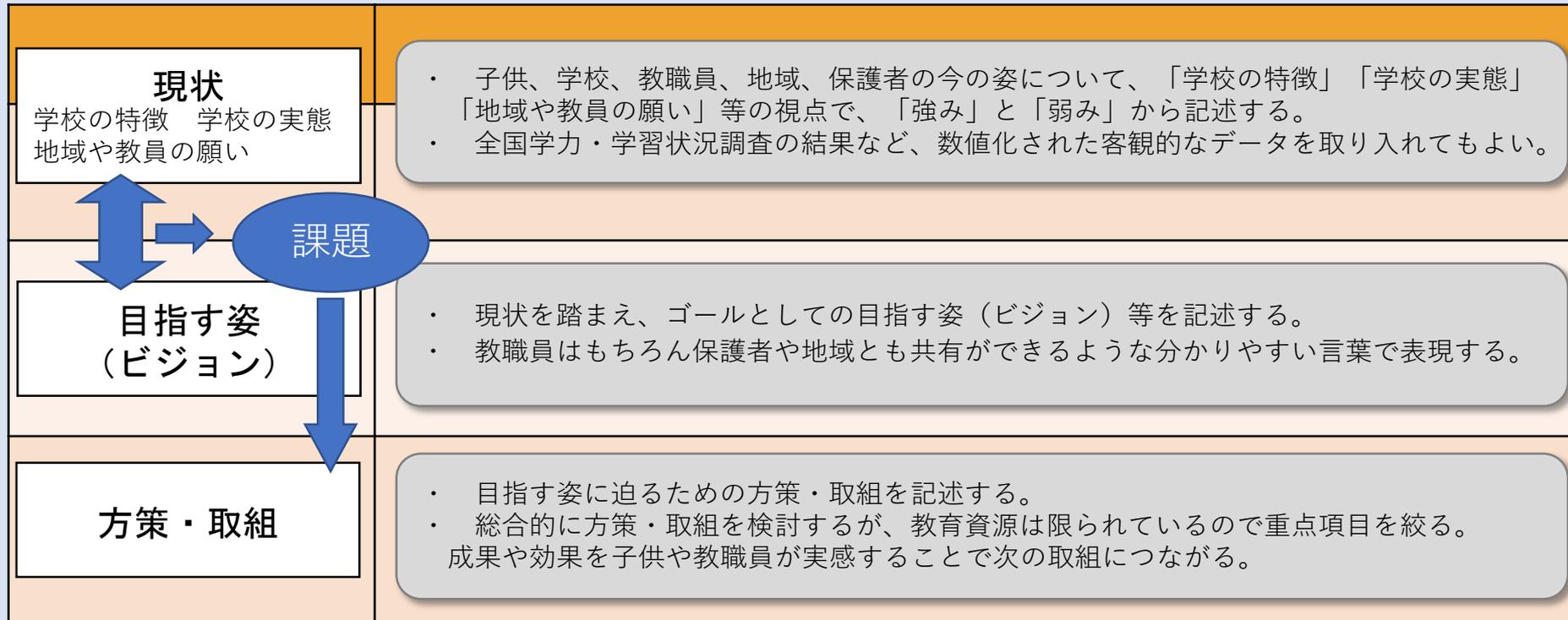
特別活動の充実

学習規律の確保

ユニバーサルデザイン

特別支援教育の充実

学力向上プラン作成のポイント



具体的な取組

目指す児童像

具体的な取組

組織的・継続的に学力向上対策に取り組むためには、目指す姿（ビジョン）や方策・取組を可視化し、それを共有することが重要です。一目で分かるような学力向上プランを作成することが大切です。その際、学校の状況は常に変化することを前提として、完璧なプランを作成しようとせず、年度途中でも見直しをする。

構想図

- ・ 取組内容が一目で分かるように構造化する。
- ・ 複数年かけて取り組む計画とする場合は、時間軸を設定する。